

テーマ： 『 体験学習を通しての環境教育に学ぶ豊かな人間づくり 』

伊勢原市立 中沢中学校

Tel. 0463-94-5756

担当者 布川 政行



「緑のカーテン」 植え付け



成長した「緑のカーテン」



「菊」 苗のさし芽作業



「菊」 鉢上げ作業

■**実践内容**： 中沢中学校では、総合的な学習の時間を使い、体験学習を通しての環境教育に学ぶことで、豊かな人間づくりを図った。昭和62年度から3カ年にわたり行った人権教育の研究の一環として行った「菊の栽培活動」を2年間継続してきた。菊作りを通して、生き物の生命の大切さを体験として学び、その尊さを生徒自ら進んで学ぶ場としてきた。

さらには、地域の菊作り専門団体からの指導・援助を受けての活動、共同作業体験による生徒相互の人間関係づくり、光輝祭(文化祭)での栽培菊の地域の方々へのプレゼント等を通して身近な環境の中で、自然と人間とのかかわり・共存を学ぶ機会とした。

また、市の事業でもある環境保全の視点から「緑のカーテン」の実践を行っている。温暖化が進む中で、草花の栽培が自然環境に及ぼす影響の観察を行うことができた。

■**実践成果**： 事業規模はやや縮小したが、20年を越える継続事業で、生徒ひとり一人が自他を尊重する心が徐々にではあるが年々増している。さし芽から育てた自らの菊を大切に栽培することで、他の栽培する菊をも大切にする気持ちが養われているものと考えられる。「菊作り」「緑のカーテン」活動を通して、自然環境に対する見方、考え方に変異が見られる。生徒会を中心に生徒自身の活動を見つめ直す機会を多く持つようにする中で、今年度は新たにエコキャップ運動の展開等の自主的活動に進展している。

■**実践ポイント**： 自らの栽培体験活動を通して、環境や環境問題に関心を持ち、人間の活動と環境とのかかわりについての総合的な理解と認識の上にならば、環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできるより良い環境の創造活動に努める。さらには、生命の尊重、相互理解・協力、共に生きることの大切さを身につける。